

経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）における 新規採択課題の決定について（2024 年度第 6 回募集 衛星燃料補給）

JST（理事長 橋本 和仁）は、内閣府および文部科学省が定めた研究開発構想を受け、経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）における新規採択研究開発課題を決定しました。

K Program では、中長期的に日本が国際社会において確固たる地位を確保し続ける上で不可欠な要素となる先端的な重要技術を育成するため、国が定めた研究開発ビジョンや研究開発構想に基づき、研究開発を実施します。JST では研究開発構想（プロジェクト型）に関してはプログラム・ディレクター（PD）が、研究開発ビジョンの達成と研究開発構想の実現に向けて、研究開発課題の実施を指揮・監督します。実施に当たっては、研究開発課題提案の募集を行い、PD が外部有識者らの協力を得ながら選考を行います。なお、公正で透明な評価を行う観点から、JST の規定などに基づき、利益相反マネジメントを行います。

今回、以下のプロジェクト型の研究開発構想について、研究開発課題を採択しました（別紙 1）。

「衛星の寿命延長に資する燃料補給技術」

公募枠（2）非協力衛星への対象拡大を見据えた捕獲技術等の獲得【2 次募集】

今後、研究開発ビジョンの達成と研究開発構想の実現に向けて、より効果的・効率的な研究開発となるよう、採択された研究開発課題の研究代表者は、PD の指揮の下、応募時の研究開発計画の見直しおよび具体化など、研究開発の詳細計画の作り込みを行った上で研究開発を開始します。

詳細は K Program のウェブサイトをご覧ください。

URL : <https://www.jst.go.jp/k-program/>

事業概要 <https://www.jst.go.jp/k-program/about/index.html>

課題概要 <https://www.jst.go.jp/k-program/program/index.html>

<添付資料>

別紙 1：採択研究開発課題一覧

別紙 2：評価者一覧

参考 1：経済安全保障重要技術育成プログラムの事前評価における選考の観点

参考 2：経済安全保障重要技術育成プログラムにおける研究開発課題募集の概要

<お問い合わせ先>

<事業に関すること>

科学技術振興機構 先端重要技術育成推進部

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-7 九段センタービル

伊藤 哲也（イトウ テツヤ）

E-mail : k-program_koubo@jst.go.jp ※お問い合わせは電子メールでお願いします。

<報道に関すること>

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

Tel : 03-5214-8404 Fax : 03-5214-8432

E-mail : jstkoho@jst.go.jp

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

採択研究開発課題一覧

研究開発構想（プロジェクト型）

「衛星の寿命延長に資する燃料補給技術」

公募枠（2）非協力衛星への対象拡大を見据えた捕獲技術等の獲得【2次募集】

研究開発課題名	研究代表者（所属・役職）	研究開発概要
<p>軌道上サービスに向けた非協力衛星に対する近傍運用・捕獲技術と地上検証 （仮称）</p>	<p>中西 洋喜 （東京科学大学 工学院 教授）</p>	<p>人工衛星の寿命延長のためには、軌道上の衛星に対して燃料補給などのサービスを行う技術の確立が必要です。軌道上にはさまざまな衛星が存在していますが、自力で姿勢を制御することができない衛星（非協力衛星）に対してサービスを提供するには、その捕獲技術の開発が重要な課題となっています。</p> <p>このため本研究開発では、鏡面的な光学特性を持つ衛星の姿勢・運動・捕獲部位を把握するセンサーやシミュレーション技術の開発に取り組みます。さらに、非協力衛星の捕獲に備えてサービスを行う衛星が安全に接近するための運動低減技術、および航法技術を開発します。これらの要素技術を統合し、非協力衛星への軌道上サービスの対象拡大を見据えた捕獲技術などの獲得を目指します。</p>

※研究開発課題名は調整により変更になることがあります。

評価者一覧

研究開発構想（プロジェクト型）

「衛星の寿命延長に資する燃料補給技術」

公募枠（2）非協力衛星への対象拡大を見据えた捕獲技術等の獲得【2次募集】

	氏名	所属・役職
プログラム・ ディレクター（PD）	大林 茂	東北大学 流体科学研究所 教授
副プログラム・ ディレクター（PD）	小笠原 宏	東京理科大学 創域理工学部 教授
分科会委員	安達 昌紀	宇宙システム開発利用推進機構 常務理事
	笠原 次郎	名古屋大学 未来材料・システム研究所 教授
	杵淵 紀世志	名古屋大学 大学院工学研究科 准教授
	泉田 啓	京都大学 大学院工学研究科 教授
	永田 晴紀	北海道大学 大学院工学研究院 教授
	原田 研介	大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授
	坂東 麻衣	九州大学 大学院工学研究院 教授

（五十音順、敬称略、所属・役職は2025年8月時点）

経済安全保障重要技術育成プログラムの事前評価における選考の観点

1. 研究開発ビジョンの達成および研究開発構想の実現に向けた達成目標の妥当性並びに多様な分野における研究成果活用の実現可能性

2. 研究開発課題の達成目標に向けた実施内容の妥当性
 - ・ 研究開発項目・内容
 - ・ 実施体制
 - ・ 研究資金計画
 - ・ 安全管理措置の計画

※ 安全管理措置とは、研究開発に関する情報を適切に管理するための措置や、機微な情報に対する守秘義務履行のための必要な措置をいいます。

経済安全保障重要技術育成プログラムにおける研究開発課題募集の概要

1. 事業の趣旨

K Program では、中長期的に日本が国際社会において確固たる地位を確保し続ける上で不可欠な要素となる先端的な重要技術について、経済安全保障推進会議および統合イノベーション戦略推進会議が定めた研究開発ビジョンの実現に向け、内閣府および文部科学省が定めた研究開発構想に基づき、研究開発を実施します。

また、K Program は経済安全保障推進法における特定重要技術の研究開発の促進およびその成果の適切な活用を目的とする事業に位置付けられています。

2. 事業の特徴

研究開発構想には、重要技術の獲得を目指す比較的大規模な研究開発プロジェクトの研究開発構想（プロジェクト型）と、重要技術となり得る要素技術や研究開発プロジェクトの高度化に資する要素技術などの獲得を目指す個別研究の研究開発構想（個別研究型）があります。

研究開発構想（プロジェクト型）に関してはプログラム・ディレクター（PD）が、研究開発構想（個別研究型）に関してはプログラム・オフィサー（PO）が、研究開発ビジョンの達成および研究開発構想の実現に向けて、研究開発課題の実施を指揮・監督します。

また、関係府省との情報共有や意見交換などの場として協議会が設置される予定です。

3. 募集期間

2024 年度第 6 回募集：2025 年 1 月 22 日（水）～2025 年 4 月 23 日（水）正午

4. JST が研究開発課題を募集する研究開発構想

2024 年度第 6 回募集

プロジェクト型

「衛星の寿命延長に資する燃料補給技術」

公募枠（2）：非協力衛星への対象拡大を見据えた捕獲技術等の獲得【2 次募集】

PD：大林 茂（東北大学 流体科学研究所 教授）

以上